

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	社会教育関係団体支援事業			事業番号	038-075
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(4) 安心して学べる教育環境の充実		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥生涯学習の推進				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		目標値	—	
		寄与するKPI	有	取組	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.7		

2	関連計画	第3期末未来をつくる堺教育プラン、堺市子ども・子育て支援事業計画		
3	事業開始年度	昭和 24 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	社会教育法第10条、第11条及び第12条、堺市PTA教育振興事業補助金交付要綱、堺市こども会育成協議会運営事業補助金交付要綱、堺市女性活躍振興事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市PTA協議会、堺市こども会育成協議会、堺市女性団体協議会 (令和4年度実績)	対象数	3
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】各学校園PTA相互の連携に努め、PTA会員に対して学習の機会や情報を提供することにより、会員の資質向上及び家庭の教育力の向上を図るとともに、PTA活動の活性化のための支援及び指導・育成を図る。 ■【こども会】堺市ブロックこども会育成団体及び堺市小学校区こども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市こども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を図る。 ■【女性活躍】女性がその個性と能力を十分に発揮し活躍できる環境の醸成を図る。 		
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】堺市PTA協議会・校園種別等PTA協議会における研修会の開催を支援するとともに、広く泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の情報提供を支援し、会員の資質向上を図る。 ■【こども会】以下の堺市こども会育成協議会の活動に対する支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間交流を通して、子どもたちがルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学ぶ。 ・ブロック別指導者研修会等により指導者・育成者としての資質向上及び意識啓発を図る。 ・ホームページの活用により、こども会の魅力を発信する。 ■【女性活躍】堺市内において、女性活躍の振興に資する事業を主体的かつ積極的に担う社会教育関係団体を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・固定的な性別役割分担意識の解消等ジェンダーへの啓発 ・DV、児童虐待防止対策 ・グローバルな観点から女性の人権問題の解決 		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	堺市PTA協議会、堺市こども会育成協議会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	【こども会】 堺市こども会育成協議会加入者数(6月末)	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	16,000	14,000	18,600	18,500
			実績値	13,563	11,661		
達成率	85%	83%					
	当該指標を選定した理由	学校・家庭・地域の連携を図り、本市がめざす「横にひろがる教育」を推進することに対して、大きく寄与しているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和7年度の目標値は、堺市基本計画の将来推計人口より、令和2年度824,000人と令和7年度802,000人を対比し、令和2年度の目標値(19,000人)から△2.7%の減少を見込む。 令和5年度の目標値は、令和7年度目標達成に向けて、年度割したものである。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	【こども会】 中央スポーツ大会等のイベント開催数	回	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	9	11	11	
			実績値	11	6		
達成率	122%	55%					
	当該指標を選定した理由	イベントの開催数は、本協議会活動の活性化の指標であり、魅力あるイベントの開催は加入への動機づけにつながるものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度の目標値から設定。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	社会教育関係団体支援事業	事業番号	038-075
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	4,510	6,976	8,488	7,114	8,505	
13 財源内訳	国支出金		0		0	
	府支出金		0		0	
	市債		0		0	
	その他 ()		0		0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	4,510	6,976	8,488	7,114	8,505
14 人件費 (b)	18,290	15,085	16,205	7,915	11,845	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	22,800	22,061	24,693	15,029	20,350	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R4 決算
16 事業費内訳	会計年度任用職員報酬	R4 決算	1,905	1,905	その他使用料及び賃借料	R4 決算	0	0
		R5 予算	1,959	1,959		R5 予算	0	0
	期末手当（会計年度任用職員）	R4 決算	383	383	研修会等参加負担金	R4 決算	0	0
		R5 予算	383	383		R5 予算	47	47
	費用弁償（通勤費）	R4 決算	0	0	PTA教育振興事業補助金	R4 決算	1,052	1,052
		R5 予算	156	156		R5 予算	1,400	1,400
	普通旅費	R4 決算	43	43	子ども会育成協議会運営事業補助金	R4 決算	2,744	2,744
		R5 予算	65	65		R5 予算	2,891	2,891
	有料道路通行料	R4 決算	3	3	女性活躍振興事業補助金	R4 決算	984	984
		R5 予算	4	4		R5 予算	1,600	1,600

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		値	値
① 【子ども会】堺市子ども会育成協議会加入者数(6月末)	人	13,563	11,661
② 上記①にかかる年間経費	千円	12,428	12,993
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	916	1,114
備考（算出についての説明等）		①にかかる補助金充当額及び人件費を記載	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】 子育て中の親に必要な専門的知識を提供していくことは子どもの健全育成に資するものであり、研修会及びソフトバレーボール大会は親同士が集まる交流の場ともなる。情報共有や各家庭、学校園とのつながりが増えることで「横にひろがる教育」の推進につながると考え、費用に表わせない効果大きい。 ■【子ども会】 令和2年度や令和3年度はコロナ禍の影響により中止となった事業が多く、年間経費は例年より縮小していたが、徐々にコロナ禍の影響が緩和する中、令和4年度は実施事業数も多くなり、年間経費が微増となった。 子ども会の加入者数は、少子高齢化の影響や、多様化する子ども会以外の諸活動の増加により、年々減少傾向にある。 そうした影響のもと、令和4年度は令和3年度に比べ、子ども会における加入者数が減少、子ども会にかかる年間経費は微増となり、単位当たり経費は増額となった。 子ども会は、経年にわたり社会教育関係団体として主体的に活動を行っているが、加入者数も活動に要する費用も様々な要因により増減するため、必ずしも比例しない場合がある。 社会教育関係団体である「子ども会」への支援事業については、スポーツ・文化活動、交流事業等の異年齢間交流を通して、子どもたちがルールを守ること、お互いを思いやること等の社会規範を学んだり、指導者研修会等により指導者・育成者の資質向上を啓発する場の提供ができるため、「横にひろがる教育」の推進につながると考え、子ども会の主体的な活動を助長し、児童の健全な育成と福祉の増進を図ることに貢献しており、その意義をさらに費用対効果に反映できるよう進めていく。 ■【女性活躍】 ジェンダーへの啓発、DV・児童虐待防止対策、グローバルな観点から女性の人権問題の解決に関する研修会等の事業の実施で、すべての人が、互いにその人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮し、あらゆる分野に対等に参画し、創造できる「男女共同参画社会の実現」の推進につながると考え、費用に表わせない効果大きい。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<ul style="list-style-type: none"> ■【PTA】 PTAについては、堺市PTA協議会・校種別等PTA協議会における活動を支援するとともに、泉北・堺市地区PTA協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会・日本PTA全国協議会の情報提供を支援し、各種研修会等への参加を促すことにより、生涯学習の推進に寄与した。 ■【子ども会】 各ブロック子ども会育成団体及び小学校区子ども会育成団体との緊密な連携のもとに、堺市子ども会育成協議会の主体的な活動の支援及び指導等を図ることができた。 ■【女性活躍】 ジェンダーへの啓発等を目的とする講演会、研修会、推進リーダー育成、シンポジウム、交流活動等に係る事業への支援を通じて、女性がその個性と能力を十分に発揮し、活躍できる環境の醸成を図ることに寄与した。
----	---